

地域医療支援病院業務報告書

令和 5 年 9 月 13 日

愛知県知事殿

開設者 住 所

東京都港区芝大門一丁目 1 番 3 号

氏 名

日本赤十字社

社長 清家 篤

下記のとおり、令和 4 年度の業務に関して報告します。

記

1 病院の名称等

名 称	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院					
所 在 地	名古屋市昭和区妙見町 2 番地の 9					
診 療 科 名	内科・精神科・脳神経内科・呼吸器内科・消化器内科・循環器内科・小児科・外科・整形外科・形成外科・脳神経外科・呼吸器外科・心臓血管外科・小児外科・皮膚科・泌尿器科・産婦人科・眼科・耳鼻いんこう科・放射線科・麻酔科・救急科・薬物療法内科・病理診断科・リハビリテーション科・歯科・歯科口腔外科					
病 床 数	精 神	感 染 症	結 核	療 養	一 般	合 計
		2			804	806

2 施設の構造設備

施 設 名	設 備 概 要
集 中 治 療 室	(主な設備) 人工呼吸器/経皮的補助人工心臓装置/大動脈内バルーンポンピング装置/体温維持装置/持続血液濾過透析装置/血液浄化装置/内視鏡装置(気管支鏡)/除細動装置/超音波画像診断装置/クリティカルケアモニター/急速輸血輸液加温システム/ポータブル X 線撮影装置/人工呼吸器用吸入装置 病床数 22 床

化学検査室	(主な設備) 生化学自動分析装置／電気化学発光免疫自動分析装置／電解質自動分析装置／全自動尿分析装置／多項目自動血球分析装置／監視機能付温度管理システム機、血液凝固自動分析装置
細菌検査室	(主な設備) 微生物検査システム／PCR サーマルサイクレーションシステムズ／自動核酸抽出装置
病理検査室	(主な設備) 電子顕微鏡システム／自動固定包埋装置／自動封入装置／卓上排気システム／病理支援システム／FISH 染色処理装置／顕微鏡撮影装置システム／自動染色システム
病理解剖室	(主な設備) 解剖台／電動解剖ノコ
研究室	(主な設備) 顕微鏡 PC
講義室	室数 3 (研修ホール、加藤化学記念カンファレンスホール、マルチホール) 収容定員 537人
図書室	室数 1 蔵書数 3330 冊程度
救急用又は患者搬送用自動車	(主な設備) 救急車 2 台／患者搬送用自動車 1 台 保有台数 3 台
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床面積 42 m ² 臨床研究・治験支援システム [共用室の場合] 室と共用

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

2 規則第9条の2第1項各号に掲げる事項を記載した書類を添付すること。

紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

1 算定期間 2022年 04月 01日 ～ 2023年 03月 31日

※別添 1

2 紹介率 75.3%

紹介患者の数 (A)	初診患者の数 (B)	紹介率 (A/B×100)
24,824人	32,928人	75.3%

3 逆紹介率 113.1%

逆紹介患者の数 (C)	初診患者の数 (B)	逆紹介率 (C/B×100)
37,265人	32,928人	113.1%

※1 各人数については、前年度の延べ人数を記入すること。

※2 紹介率及び逆紹介率は、小数点以下第1位まで記入すること。

※3 紹介率が80%以上であることを承認の要件とする場合で、紹介率が65%以上80%未満の病院にあつては、今後、2年間で紹介率を80%以上とするための具体的な年次計画を明らかにする書類を添付すること。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

共同利用の実績
(地域の医療従事者による診療、研究又は研修のための利用)

1 共同利用の実績

共同利用を行った医療機関の延べ機関数	1,996 件
申請者と直接関係のない医療機関の延べ機関数	1,996 件
共同利用に係る病床の病床利用率	6.0%

※1 前年度の共同利用を行った医療機関の延べ機関数、これらの医療機関のうち申請者と直接関係のない医療機関の延べ機関数、共同利用に係る病床の病床利用率等を記入すること。

2 共同利用の範囲等

- ・ 第一病棟 10 階 図書館 利用時間内常時開放のため利用状況は確認しておりません。
- ・ 第三病棟 1 階 研修ホール コロナの来院制限により講演会等は WEB 配信で行っていました。
- ・ 第三病棟 3 階 開放型病床 (6 床)、登録医室 **※別添 2-1**
- ・ 共同利用医療機器 **※別添 2-2**

放射線部門：磁気共鳴画像診断装置 (MR)、全身用コンピュータ断層撮影装置 (CT)
骨塩定量測定装置、シンチカメラ、マンモグラフィ、腹部エコー
検査部門：心臓超音波診断装置、頸動脈超音波診断装置、脳波計
消化器部門：胃カメラ

※2 病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用の対象としたものを記入すること。

3 共同利用の体制

共同利用に関する規程 ※別添 2-3	(有) ・ 無	
利用医師等登録制度の担当者	氏 名	地域医療連携課長
	職 種	事務

※3 共同利用に関する規程がある場合には、当該規程の写しを添付すること。

4 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住 所	主たる診療科	申請者との経営上の関係
1,923 施設 ※別添 2-4				

※4 申請に係る病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関についてのみ記入すること。

5 常時共同利用可能な病床数 6 床

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

救急医療提供の実績

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職 種	氏 名	勤 務 の 態 様	勤 務 時 間	備 考
225 名 ※別添 3			常勤 専従 非常勤 非専従		

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	名称 HCU	4 2 床
専用病床	名称 ICU, CCU, SCU	5 7 床

※ 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記入すること。

3 重症救急患者に必要な検査又は治療を行うために必要な診療施設の概要

施 設 名	床 面 積	設 備 概 要	24 時間使用の可否
救急外来診察室	830.87 m ²	(主な設備) 生体情報管理システム、超音波診断装置、内視鏡システム、無影灯、救急用ストレッチャー、心臓マッサージシステム/CPR・MRI 対応搬送用人工呼吸器/ペーシング機能付除細動器、人工呼吸器	可
救急検査室	126.25 m ²	(主な設備) 血液凝固自動分析装置、尿自動分析装置、生化学自動分析装置、血液ガス自動分析装置、全自動輸血システム	可
救急X線室	161.83 m ²	(主な設備) CT撮影装置、X線透視撮影装置、一般X線撮影装置	可

4 救急医療の提供の実績

救急用又は患者搬送用の自動車により搬入した救急患者の延べ数	12,426 人 (5,149 人)
上記以外の救急患者の延べ数	18,278 人 (5,305 人)
合計	30,704 人 (10,454 人)

※ () 内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

5 保有する救急用又は患者搬送用の自動車の出動回数

22 回

6 備考

昭和 48 年 6 月 1 日 救急告示医療機関指定

※特定の診療科において、重症救急患者の受入れ体制を確保する場合は、その旨を記入すること。

既に、「救急病院等を定める省令」(昭和 39 年厚生省令第 8 号)に基づき知事の救急病院の認定を受けている病院及び「救急医療対策の整備事業について」(昭和 52 年 7 月 6 日付け医発第 692 号厚生省医務局長通知)に基づき救急医療を実施している病院にあつては、その旨を記入すること。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格 A 4 とする。

地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

1 研修の内容 ※別添 4-1

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	18 回
(2) (1) の合計研修者数	856 人

※ 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(2) には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

(1) 研修プログラムの有無 有 無 ※別添 4-2

(2) 研修委員会の有無 有 無

支援病院運営委員会等と併催のため特段の資料はありません

(3) 研修指導者

氏 名	職 種	診 療 科	役 職 等	臨 床 経 験 年 数	備 考
103 名 ※別添 4-3				年	

※ 研修責任者については、備考欄にその旨を記入すること。

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施 設 名	床 面 積	設 備 概 要
第 1 病棟 10 階 加藤化学記念カン ファレンスホール (定員 150 名)	222.1 m ²	(主な設備) 音響映像機器設備、スクリーン、演台、机、椅子 他
第 1 病棟 10 階 第一会議室 (定員 20 名)	72.0 m ²	(主な設備) 机、椅子、スクリーン、ホワイトボード 他
第 1 病棟 10 階 第二会議室 (定員 10 名)	43.7 m ²	(主な設備) 机、椅子、ホワイトボード 他

第1病棟10階 古川記念医学図書館 視聴覚室ほか	124.5 m ²	(主な設備) 書架、机、椅子、文献検索用パソコン、コピー機 他 医学図書(電子図書を含む)、医学雑誌(電子ジャーナル)
第3病棟1階 研修ホール (定員315名)	396.22 m ²	(主な設備) 電動収納式座席、昇降式舞台、大型プロジェクター大型スクリーン、LAN接続、プラズマディスプレイ 他
災害管理センター棟 2階多目的室1 (定員36名)	61.83 m ²	(主な設備) 多面ホワイトボード、机、椅子、プロジェクター 他
災害管理センター棟 2階多目的室2 (定員36名)	61.33 m ²	(主な設備) 多面ホワイトボード、机、椅子、プロジェクター 他
災害管理センター棟 2階多目的室3 (定員36名)	63.91 m ²	(主な設備) 多面ホワイトボード、机、椅子、プロジェクター 他
災害管理センター棟 3階会議室1 (定員12名)	24.44 m ²	(主な設備) 多面ホワイトボード、机、椅子、ディスプレイ 他
災害管理センター棟 3階会議室2 (定員12名)	22.19 m ²	(主な設備) 多面ホワイトボード、机、椅子、ディスプレイ 他
災害管理センター棟 3階会議室3 (定員12名)	31.05 m ²	(主な設備) 多面ホワイトボード、机、椅子、ディスプレイ 他
災害管理センター棟 3階会議室4 (定員12名)	28.37 m ²	(主な設備) 多面ホワイトボード、机、椅子、ディスプレイ 他
災害管理センター棟 3階マルチホールA (定員120名)	214.70 m ²	(主な設備) 定員120名 音響映像機器、演台、机、イス、ホワイトボード ほか
災害管理センター棟 4階マルチホールB (定員72名)	124.57 m ²	(主な設備) 音響映像機器設備、スクリーン、演台、机、椅子 他

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法

1 管理責任者等

	氏 名	職 種	役 職 等
管理責任者の 氏名、職種、役職等		医 師	院 長
管理担当者の 氏名、職種、役職等	保管場所 各所属責任者※別添 5		

2 諸記録の保管場所及び分類方法

		保 管 場 所	分 類 方 法
診療に関する 諸記録	病院日誌	総務課（管理棟 1 階）	日付順
	各科診療日誌	各病棟	日付順
	処方せん	薬剤部（第 1 病棟 1 階）	診療科別日付順
	手術記録、看護記録、 検査所見記録、 退院した患者に係る 入院期間中の診療経過の要約	診療情報管理課 (第 1 病棟 B 1 階)	患者番号順 病歴番号順
	エックス線写真	院外倉庫 診療情報管理課 (第 1 病棟 B 1 階)	診療科別患者番号順 病歴番号順
	紹介状	地域医療連携室 (第 1 病棟 1 階)	日付順
病院の管理及び 運営に関する 諸記録	共同利用の実績	地域医療連携室	
	救急医療の提供の実績	医事業務課	
	地域の医療従事者の資質の向上を 図るための研修の実績	地域医療連携室	
	閲覧の実績	総務課	

	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	医事業務課 地域医療連携室	
--	---	------------------	--

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法
及び閲覧の実績

閲覧責任者	氏名	職種	役職等		
		看護師	看護部長		
閲覧担当者	氏名	職種	役職等		
	各病棟看護師長※別添 6				
閲覧場所	<ul style="list-style-type: none"> ・各病棟 ・やごとクロスネット (インターネット) を用いて院外からの閲覧可能 				
総閲覧件数	医師	歯科医師	地方公共団体	その他	合計
	17,230	0	0	3,960	21,190
閲覧手続の概要	<p>〈来院しての閲覧〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・閲覧希望者は、警備防災センター、各病棟窓口、地域医療連携室、窓口等で登録医・登録歯科医訪院記録簿へ氏名を記載し、電子カルテを閲覧する。 ・登録医用のID・パスワードを3つ用意しており、カルテ閲覧を希望される場合にお知らせする。一度使用されたIDについては、パスワードを変更する。 ・費用負担はない。 <p>〈やごとクロスネットでの閲覧〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当院登録医でシステムを希望した施設には当院職員が訪問し、閲覧端末の設定を実施している。 ・システムログイン時にはIPSec-VPNで接続後、使用者単位で発行したID・PWを入力する。 ・費用負担はない。 				

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

医療法施行規則第9条の19第1項に規定する委員会の開催の実績

1 委員会の開催回数 4 回

※別添 7-1・7-2

2 委員会における議事の概要

※委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

第67回地域医療支援病院運営委員会議事録

1. 日 時：令和4年6月20日（月）14:00～15:00
2. 場 所：日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院
会議室（Webハイブリッド形式）
3. 出席委員：出席者数 22名（本委員会委員数 25名）
4. 委員会成立確認：22名/25名中（過半数）出席、委員会の成立確認
5. 挨拶：委員長（日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 院長）
副委員長（名古屋市医師会 地域医療担当理事）
副委員長（昭和区医師会 会長）
6. 議事録署名人選任：委員（千種区医師会 会長）、委員（日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 事務部長）に委嘱
7. 議 事
 - (1) 令和3年度事業報告
 - (2) 令和4年度事業計画
 - (3) 当院の新型コロナウイルス対応について

第68回地域医療支援病院運営委員会議事録

1. 日 時：令和4年9月5日（月）14:00～15:00
2. 場 所：日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院
会議室（Web形式）
3. 出席委員：出席者数 17名（本委員会委員数 20名）
4. 委員会成立確認：17名/20名中（過半数以上）出席、委員会の成立確認
5. 挨拶：委員長（日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 院長）
副委員長（愛知県医師会 理事）
副委員長（名古屋市医師会 地域医療担当理事）
副委員長（昭和区医師会 会長）
6. 議事録署名人選任：委員（昭和区 保健福祉センター長）、委員
（日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 地域医療連携室長）

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

7. 議 事：

- (1) 令和4年度第1四半期事業報告
- (2) 「新型コロナ感染の経過と当院の対応状況について」

第69回地域医療支援病院運営委員会 議事録

1. 日時：令和4年12月19日（月）14:00～14:40
2. 場所：日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院
会議室（Web形式）
3. 出席委員：出席者数 16名（本委員会委員数 20名）
4. 委員会成立確認：16名/20名中（過半数以上）出席、委員会の成立確認
5. 挨拶：委員長（日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 院長）
副委員長（名古屋市医師会 地域医療担当理事）
副委員長代理（昭和区医師会 副会長）
6. 議事録署名人選任：委員（昭和区歯科医師会 会長）、委員（日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 患者支援センター副センター長）に委嘱
7. 議事：
 - (1) 令和4年度第2四半期事業報告
 - (2) 「新型コロナ感染の経過と当院の対応状況について」

第70回地域医療支援病院運営委員会 議事録

1. 日時：令和5年3月13日（月）14:00～14:40
2. 場所：日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院
会議室（Web形式）
3. 出席委員：出席者数 19名（本委員会委員数 20名）
4. 委員会成立確認：19名/20名中（過半数以上）出席、委員会の成立確認
5. 挨拶：委員長（日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 院長）
副委員長（愛知県医師会 理事）
副委員長（名古屋市医師会 地域医療担当理事）
副委員長（昭和区医師会 会長）
6. 議事録署名人選任：委員（名古屋市薬剤師会 副会長）、委員（日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 副院長兼患者支援センター長）に委嘱
7. 議事：
 - (1) 令和4年度第3四半期事業報告
 - (2) 「新型コロナ感染の経過と当院の対応状況について」

患者相談の実績

患者相談を行った場所	診療情報管理課（カルテ閲覧室） 患者支援センター		
患者相談担当者	氏 名	職 種	役 職 等
		事務員	課長
		事務員	主事
		事務員	主事
		事務員	主事
		事務員	主事
		事務員	主事
		事務員	主事
患者相談件数	56件		

患者相談の概要

カルテ開示希望者に対して、当院で規程する「診療情報提供マニュアル」に準じて提供までの一連の流れを説明し、56件の開示を行った。

※ 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。

患者相談件数	18055件（延べ数）
<p>患者相談の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 受診相談：58件 ・ がん相談：624件 ・ 外来からの在宅支援相談：80件 ・ 退院支援調整：17293件 <p>＊ ＊入院・手術支援：介護保険の申請や在宅支援の内容に関する情報提供</p>	
<p>※ 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。</p>	

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

患者相談の実績

患者相談を行った場所	患者支援センター 相談支援室		
患者相談担当者	氏名	職種	役職等
	・	看護師	看護師長
	・	看護師	看護師長
	・	看護師	
患者相談件数	1038件	別添8	

患者相談の概要

2022年度実績

- | | |
|-------------------------------------|------|
| 1. 受診相談・トリアージ | 119件 |
| 2. がん相談
(がん患者の療養・就労両立支援 45件) | 627件 |
| 3. がん以外の看護相談
(難病患者の療養・就労両立支援 0件) | 111件 |
| 4. かかりつけ医相談 | 103件 |
| 5. 苦情・ご意見 | 78件 |

対応策

- ・ 専門的な相談については専門・認定看護師、MSW、栄養士、薬剤師、事務職員などと連携した。
- ・ 苦情・ご意見については総務課、メディエーター、患者サービス向上委員会のメンバーと話し合いをもち、情報共有を行った。

※ 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。

患者相談の実績

患者相談を行った場所	患者支援センター医療福祉支援室		
患者相談担当者	氏名	職種	役職等
		医療社会事業司課長 医療社会事業司主任 医療社会事業司 医療社会事業司	
患者相談件数	12,661 件		
患者相談の概要			
1. 受診・受療	1,122件		
2. 経済的問題	2,320件		
3. 制度活用	3,193件		
4. 入院療養生活	1,360件		
5. 退院支援	465件		
6. 在宅療養・介護	293件		
7. 医療者との関係	4件		
8. 家族関係	402件		
9. 日常生活	13件		
10. 就労・就学	88件		
11. 身元保証・権利擁護	2,830件		
12. 死後対応	571件		
13. その他	0件		

※ 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。

居宅等における医療の提供の推進に関する支援の状況

居宅等医療提供施設等における連携の緊密化のための支援等の実績

- ・ 退院から在宅へ調整した実績：531名
- ・ 退院から施設へ調整した実績：3799名（ショートステイも含む）
- ・ 居宅介護支援員との共同：300件
- ・ 在宅支援チームとのカンファレンス：99件

医療を受ける者又は地域の医療提供施設に対する情報の提供の実績

医療者対象

- | | |
|------------|---------------------|
| 2023.07.08 | 第1回臨床倫理研修会 |
| 2023.07.05 | 第5回やごと・なかむら病診連携セミナー |
| 2023.06.18 | 令和5年度第1回緩和ケア研修会 |

市民対象

- | | |
|------------|----------------------------------|
| 2023.07.22 | 八事日赤 オープンホスピタル2023 |
| 2023.06.08 | TOKAI RESIDENT ONLINE CROSS TALK |
| 2023.05.31 | 第19回乳腺サロン「りあん」 |
| 2023.05.19 | 2023年度八事日赤健康教室 |

その他居宅等における医療の提供の推進に関し必要な支援の実績

- | | |
|--------------------------|-----|
| ・ 訪問看護師、施設管理者向けWebセミナー | 4回 |
| ・ 施設企画の講演（認知症、嚥下評価などの内容） | 4回 |
| ・ 居宅、施設への訪問による、看護実践の指導 | 46件 |
- （訪問看護師、施設の看護師や介護員への実技指導、アセスメント方法の指導など）

その他地域医療支援病院に求められる取組みの状況

1 連携体制を確保するための専用の室、担当者

専用の室の名称	患者支援センター		
	氏名	職種	役職等
担 当 者		看護師	入退院支援室室長 地域包括ケア支援室室長
		管理栄養士	栄養管理・指導係長 栄養課長職務代理 栄養支援室室長
		事務	地域医療連携課長
		医療ソーシャル ワーカー	医療福祉支援室 医療社会事業課長
		看護師	相談支援室長 看護師長

2 病院の機能に関する第三者による評価 別添9

評価を行った機関名	(1) Joint Commission International
評価を受けた時期	(1) 2021年1月30日～2024年1月29日

※ 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

3 退院調整部門の取組

退院調整部門の実績

入退院支援加算 1	17,293 件
入退院支援加算 3	386 件
入院時支援加算	5,754 件
介護連携指導料	300 件
退院前訪問	51 件
退院後訪問	6 件
退院時共同指導料	99 件

4 地域連携を促進するための取組みの実績

策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容

脳卒中：357 件、大腿骨頸部骨折：131、大腸がん：14 件、胃がん：1 件、乳がん：167 件、
前立腺がん：1、胃 ESD：22 件 合計：205 件

地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み

- ・患者支援センターに地域連携パス専任職員（事務）が在席し、患者・院内・院外のコーディネート業務を行っている。業務内容としては、連携パスデータ管理、勉強会の企画運営、がん地域連携パスの患者への運用説明等である。
 - ・脳卒中、大腿骨頸部骨折、がん、それぞれの連携会があり、地域との情報共有や問題点の改善に取り組んでいる。
- 二次性骨折予防への取組みが新たに加わった。

5 病院が果たしている役割に関する情報発信の実績

情報発信の方法

毎月初め、全ての登録医を対象に地域連携に関する話題、情報を掲載した「連携ニュース」を FAX 又はメールにて送信

内容等の概要

「連携ニュース」：登録医向け症例検討会の案内、その他各種勉強会の案内、診療科予約枠の変更
ドクター紹介、診療部長・副部長の異動、外来診療表 等

備考 用紙の大きさは、日本工業規格 A4 とする。